



Higashi Sapporo
Hospital's
Newsletter MADO

July 2019 No.98

ご挨拶

東札幌病院 副理事長 西山正彦



この度、7月1日をもって東札幌病院に赴任させていただくことになりました。医師となつて39年になりますが、そのうち15年ほどは腫瘍外科医として過ごし、その後は、一貫して、がん薬物療法の開発をテーマとする研究室を大学にて主宰してまいりました。がんゲノム医療研究、がんトランスレーショナルリサーチに関し、基礎から臨床まで各相の研究に携わってはまいりましたが、実地臨床のフル業務に就くことは、実に松山日赤病院以来38年ぶりとなります。経験の引き出しも限られており、新たな環境で何ができるか、いささか不安ではありますが、少しでも東札幌病院に貢献できるよう、精一杯がんばりたいと存じます。

石谷邦彦理事長には、小職の兄弟子でもあり、また、最後のボスでもありました峠以来、大変お世話になってまいりました。今回の赴任も、そのご縁あつてのものと考えております。また、北海道、札幌は小職にとって非常に身近に感じられる地域、街であります。北海道大学、札幌医科大学、旭川医科大学、北海道がんセンター、札幌がんセミナーなどの先生方ともこれまで、様々な領域の共同研究やがん関連プロジェクト、学会等の活動を通じて、お世話になってまいりました。たまの訪問と、そこに住むということとは大きく違うことは重々承知しておりますが、一日も早く、札幌での生活に慣れ、病院の皆様、そして何よりも患者、家族の皆様にも少しでもお役に立てるよう、業務に精励していく所存です。また、現在、研究代表者として行っている厚生労働科学研究費補助金がん対策推進総合研究事業で明らかとなりました、がん在宅医療の多くの課題にも、将来的には挑戦してみたいとも思っております。東札幌病院の質の高いがん緩和医療のノウハウを学び、その普及に資するAIシステムを開発できないものかなどと、分をわきまえずに妄想したりしております。

ただ、いまだ、日本がん治療認定機構、日本専門医機構、Federation of Asian Clinical Oncologyなどの役職や、国内外との共同研究、客員教授などを抱えております。少なくとも来年3月までは、これを並行しなければなりません。この点、なにとぞ状況ご理解賜りたく、お願い申し上げます。なにかございましたら、いつでもなんなりとお声がけください。最善を尽くす所存です。

Higashi Sapporo Hospital
医療法人
東札幌病院

2019年7月発行
発行責任者／病院長 照井 健
札幌市白石区東札幌3条3丁目7-35
TEL.011-812-2311(代表)
FAX.011-823-9552
E-mail: info@hsh.or.jp
HP: http://www.hsh.or.jp

平成30年度東札幌病院業績

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

医局

A-1：英語論文

1. Ito S1, Ito H2, Sato N3, Hirayama Y3, Kusakabe T3, Terui T3, Ishitani K3. 1Division of Internal Medicine, Department of Medicine, Higashi-Sapporo Hospital, 2Tenshi College, 3Division of Internal Medicine, Department of Medicine, Higashi-Sapporo Hospital.
「Clinical factors associated with the therapeutic outcome of chemotherapy in very elderly cancer patients.」
Int J Clin Oncol. 2019. 24(5):596-601.
2. Watanabe K, Tsukahara T, Toji S, Saitoh S, Hirohashi Y, Nakatsugawa M, Kubo T, Kanaseki T, Kameshima H, Terui T, Sato N, Torigoe T.
「Development of a TCR multimer with high avidity for detecting a naturally presented tumor-associated antigen on osteosarcoma cells.」
Cancer Sci. 2018 Oct 30.

A-2：邦文総説・著書

1. 平山泰生
「がん薬物療法による末梢神経障害治療の現状」
新薬と臨床 67, 47-50, 2018 医薬情報研究所
2. 平山泰生
「がん薬物療法中の神経毒性にどう対処するか. 中枢神経毒性の症状と対応」
日本医事新報 4932. 28-33, 2018 日本医事新報社
3. 平山泰生
「がん薬物療法による末梢神経障害マネジメントのヒント」
YORi-SOUがんナーシング 64: 376, 2018 メディカ出版
4. 中村健児
「医師とがん患者のコミュニケーション障害としての“Collusion”—生と死に揺れる患者への真の共感を取り戻すために」
精神医学(医学書院)2018年5月号 特集“サイコオンコロジー” pp.477-485
DOI <https://doi.org/10.11477/mf.1405205592>

B-1：全国学会(シンポジウム、ワークショップ、パネル)

1. 平山泰生
「がんと就労を可能とする薬物療法マネジメント.がん薬物療法

による末梢神経障害のマネジメント.」

第16回臨床腫瘍学会総会 2018.7.20(神戸)

B-2：全国学会(一般演題、ポスター、ランチョンセミナー)

1. 目黒 誠、大村東生、染谷哲史、亀嶋秀和、澤田 健、石谷邦彦、九富五郎、竹政伊知朗
「乳癌術前化学療法後における腋窩リンパ節転移の有無予測について～当院におけるセンチネルリンパ節生検施行可能症例とは?～」
第118回日本外科学会定期学術集会 2018.4.7(東京)
2. 空閑陽子
「当科乳癌手術症例におけるBMIの臨床病理学的意義の検討」
第26回日本乳癌学会 2018.5.17(京都)
3. 平山泰生
「カテーテルの種類、管理法によるカテーテル関連血流感染率の低下」
第92回日本感染症学会学術総会 2018.6.1(岡山)
4. 中村健児、町野孝幸、照井 健、石谷邦彦
「オピオイド誘発性痛覚過敏(OIH)を想定し、ケタラル併用オピオイド・コンビネーションを施行した結果、良好な疼痛コントロールが得られた終末期舌癌の1例」
第23回日本緩和医療学会学術集会 2018.6.15(神戸)
5. 須釜佑介
「Successful treatment of a pericardial liposarcoma with doxorubicin and eribulin」 第16回日本臨床腫瘍学会学術集会 2018.7.19(神戸)
6. 伊藤智子、伊藤治幸、日下部俊朗、平山泰生、照井 健、石谷邦彦
「75歳以上の高齢者非切除胃癌に対する緩和的放射線治療は症状を改善し生命予後に寄与する可能性がある」
第26回日本消化器関連学会週間 2018.11.2(神戸)
7. 大村東生、空閑陽子、染谷哲史、目黒 誠、柏木清輝
「当院女性職員における乳がん検診の現況」
第28回日本乳癌検診学会 2018.11.23(大阪)
8. 目黒 誠、染谷哲史、大村東生、柏木清輝、空閑陽子、平山泰生、照井 健、石谷邦彦
「当院における直近3年間の細菌培養検査～とくに耐性菌サーベイランスについて～」
第31回日本外科感染症学会総会学術集会 2018.11.28(大阪)
9. 目黒 誠、染谷哲史、大村東生、柏木清輝、空閑陽子、照井 健、石谷邦彦

「壊疽性破裂虫垂炎の腹腔鏡術後に被膜下肝膿瘍をきたした1例」

第55回日本腹部救急医学会総会 2019.3.8(仙台)

B-3：全国研究会・講演会

1. 平山泰生

「化学療法による神経障害について」

第2回日本がんサポーターケア学会 教育講演 2018.9.1(福岡)

B-4：地方会

1. 須釜佑介

「Blastic plasmacytoid dendritic cell neoplasm 2症例の治療経験」

第60回日本血液学会秋季北海道地方会 2018.9.22(札幌)

B-5：地方研究会・講演会

1. 大村東生

「乳がんと子宮頸がんについて」北海道教育大学 2018.5.14(札幌)

2. 目黒 誠

「肝がんの外科的アプローチについて」

日本肝臓学会主催肝がん撲滅運動市民公開講座 2018.7.14(札幌)

3. 日下部俊朗

「もしも、脂肪肝と言われたら…?脂肪性肝疾患の正しい知識と、対処法を学びましょう」

日本肝臓学会主催肝がん撲滅運動市民公開講座 2018.7.14(札幌)

4. 大村東生

「乳がん再発治療」

乳がん講演会 2018.7.23(札幌)

5. 大村東生

「乳がんの最新治療」

東札幌病院講演会 2018.9.18(札幌)

6. 大村東生

「乳がんと子宮頸がんについて」

天使大学 2018.10.16(札幌)

7. 目黒 誠

「肝がん」「消化管ホルモン」

日本医療大学 2018.11.2(札幌)

8. 大村東生

「乳がんについて」

乳がん患者写真展 2018.11.16(札幌)

9. 大村東生

「HR陽性、HER2陰性乳がんの治療」

社内研修会 2018.11.23(札幌)

10. 大村東生

「乳がん検診について」

札幌市医師会主催 2019.2.28(札幌)

座長

1. 目黒 誠 第30回日本肝胆膵外科学会・学術集会 2018.6.8(横浜)

2. 目黒 誠 第25回外科侵襲とサイトカイン研究会 2018.7.4(大阪)

3. 日下部俊朗 肝臓マネジメントセミナー 2018.7.13(札幌)

4. 大村東生 第16回日本乳癌学会北海道地方会 特別講演Ⅱ 2018.8.25(札幌)

5. 大村東生 With You北海道 あなたとプレストケアを考える会 2018.9.1(札幌)

6. 平山泰生 第1回All Hokkaido Society of Hematology 2018.9.15(札幌)

7. 日下部俊朗 第23回PEG・在宅医療学会学術集会 2018.9.15(福岡)

8. 大村東生 乳がんweb seminar 2018.10.23(札幌)

9. 目黒 誠 第31回日本外科感染症学会総会学術集会 2018.11.29(大阪)

10. 日下部俊朗 第34回日本静脈経腸栄養学会学術集会 2019.2.14(東京)

11. 目黒 誠 第55回日本腹部救急医学会総会 2019.3.7(仙台)

大会長

1. 大村東生 第16回日本乳癌学会北海道地方会 2018.8.25(札幌)

看護部

全国学会(一般演題、ポスター、口演)

1. 佐々木あづさ、大串祐美子

「乳癌皮膚自壊創の現状とケア継続のツール作成に向けて～Bates Jensen wound assessment toolを用いて～」

第26回日本乳癌学会学術総会 2018.5.17(京都)

2. 長谷川美栄子、浅井さおり、小野光美、友竹千恵、内山孝子、大串祐美子、三浦直子

「臨床で身体拘束をしない組織づくり」

日本看護倫理学会第11回年次大会交流集会 2018.5.26(東京)

3. 青田美穂、新井美穂、二井矢ひとみ、大串祐美子、長谷川美栄子

「自傷行為や自殺企図行動のある終末期がん患者への看護」

日本看護倫理学会第11回年次大会 2018.5.26～27(東京)

4. 猪浦拓起、佐々木真佐美、新井美穂、竹内直人、大串祐美子
「痛み以外の苦痛症状に対する気づき～STAS-J症状版を使用して～」
第23回日本緩和医療学会学術大会 2018.6.15(神戸)
5. 東 玉枝、大串祐美子
「乳房の腫瘍を自覚しながらも受診行動が遅れた進行性乳がん患者への支援—外来看護師が患者の人生観を理解し寄り添う看護の実践—」
第3回日本がんサポーターズ学会学術集会 2018.9.1(福岡)
6. 納谷さくら、青田美穂、二井矢ひとみ、大串祐美子
「認知症と癌を併発した患者に対するオピオイド投与経路の選択—認知機能と日常生活能力の評価の視点—」
第31回日本サイコオンコロジー学会総会 2018.9.21(金沢)
7. 大串祐美子、佐々木あづさ、東 玉枝、長谷川美栄子、加藤遥平、三原大佳、大村東生、平山泰生、照井 健、石谷邦彦
「進行乳がんの腫瘍自壊創・皮膚浸潤(MFWs)に関する検討」
第56回癌治療学会 2018.10.18(横浜)

地方学会(一般演題・ポスター)

1. 納谷さくら、吉井香澄、山口 弘、青田美穂、二井矢ひとみ、大串祐美子
「多職種カンファレンスにおいて司会を務める熟練看護師の思考～カンファレンス準備段階に焦点を当てて～」
日本緩和医療学会第1回北海道支部学術大会 2018.8.25(旭川)
2. 鈴木京子、佐々木あづさ、東 玉枝、大串祐美子
「進行再発乳がん患者の就労支援の現状と課題」
第16回日本乳癌学会北海道地方会 2018.8.25(札幌)
3. 早川絵里奈、臼田里絵、菊池恵美、大串祐美子、三原大佳
「治療を拒否し自壊創のある乳がん患者に対する多職種との連携支援」
第16回日本乳癌学会北海道地方会 2018.8.25(札幌)
4. 岸本彩花、鈴木美好
「膀胱転移による血尿が続く乳腺浸潤性小葉癌患者への看護」
第16回日本乳癌学会北海道地方会 2018.8.25(札幌)
5. 野上史恵、遠藤佳子
「AYA世代の乳がん、双極性感情障害をもつ患者の家族看護～乳がん終末期の病状変化に伴い、情緒不安定になった患者と揺れる家族への関わり～」
第16回日本乳癌学会北海道地方会 2018.8.25(札幌)
6. 竹内奈緒美、柏谷有希、大柳典子、川村修子、大串祐美子、三原大佳
「進行再発乳がん患者の化学療法を継続するための看護～様々な有害事象から考える看護師の役割～」
第16回日本乳癌学会北海道地方会 2018.8.25(札幌)

研修会・講演会

1. 大串祐美子
「乳癌とは? 北海道の乳がん看護の課題」
第16回日本乳癌学会北海道地方会 看護セミナー 2018.8.25(札幌)
2. 二井矢ひとみ
「がん看護におけるアドバンス・ケア・プランニングの実践」
がん看護臨床実務研修WG講演会 2018.10.5(熊本)
3. 長谷川美栄子
「身体拘束をしないための看護管理者の役割」
日本看護倫理学会看護管理者研修会 2019.1.27(岩手)

座長

1. 大串祐美子
第11回日本看護倫理学会学術集会 口演—倫理的実践のための取り組み:身体拘束・急性期ケア— 2018.5.27(東京)
2. 長谷川美栄子
「水俣病の学術と運動の担い手として」
日本臨床倫理学会第11回年次大会特別講演 2018.5.27(東京)
3. 佐々木あづさ
第16回日本乳癌学会北海道地方会 看護セミナー～再発・終末期ケアで困っていること～ 2018.8.25(札幌)
4. 佐々木あづさ
「各分野の立場で～緩和ケア～を考える」
北海道緩和ケア認定看護師の会(SKY) 2018.11.10(札幌)

講義・助言

1. 青田美穂
「がん看護論:緩和ケア、終末期の看護」
札幌保健医療大学 2018.4.13、4.16、4.19(札幌)
2. 二井矢ひとみ
「終末期看護論」
札幌保健医療大学 2018.4.16(札幌)
3. 納谷さくら
「がん看護論 症状マネジメント1、症状マネジメント2、家族ケア」
札幌保健医療大学 2018.4.19、4.24、4.26(札幌)
4. 大串祐美子
「がん看護論 化学療法を受ける患者の看護」
札幌保健医療大学看護学部 2018.4.20
5. 青田美穂
「緩和ケア病棟でのケアの実際と多職種チームアプローチ」
札幌市立大学看護学部 2018.5.14(札幌)
6. 遠藤佳子
「成人看護学方法論Ⅳ」

北海道看護専門学校 2018.5.30、6.14、7.5

7. 川村修子

「スーパケアにおける医療安全」

スーパマリハビリテーション北海道講習会 2018.6.21～23
(札幌)

8. 大串祐美子

「成人看護方法論Ⅳ がん治療に伴う看護と全人的苦痛の緩和」
北海道看護専門学校 2018.6.29、7.6、7.13

9. 二井矢ひとみ

「成人看護援助論演習Ⅱ 緩和ケアにおける終末期看護の実践」
北海道科学大学 2018.7.19(札幌)

10. 青田美穂

「エンド・オブ・ライフ・ケア(ELNEC-J)研修会 臨死期のケア」(講義担当、ファシリテーター)
北海道看護協会 2018.8.23～24(札幌)

11. 二井矢ひとみ

「身体的ケア」「緩和ケアにおける精神的・社会的・スピリチュアルケア」「家族ケア」「死亡時の看護」
北海道医療専門学校 成人看護学方法論Ⅳ(終末期看護)
2018.10.26、11.9、11.16(札幌)

12. 青田美穂

「ターミナルケア」
平成30年度北海道主任介護支援専門員研修 2018.11.13、
12.11(札幌)

13. 佐々木あづさ

北海道緩和ケア認定看護師の会(SKY)座談会(上)(下)地域をつなぐ緩和ケア認定看護師
BEST NURSE第29巻第7号、8号 2018.6～7 北海道新聞社

とその評価」

第28回日本医療薬学会年会 2018.11.23～25(神戸)

4. 伊与絵里、加藤遥平、日下部俊朗

「終末期がん患者におけるビタミンB1含有加糖電解質液へのアミノ酸輸液追加投与に関する検討」
第34回日本静脈経腸栄養学会学術集会 2019.2.14～15(東京)

5. 中山可奈子、加藤遥平、和泉早智子、中脇誠一、長谷川美栄子

「根治切除不能甲状腺癌に対するレンパチニブの安全性と有効性に関する検討」

日本臨床腫瘍薬学会学術大会2019 2019.3.23～24(札幌)

MSW課

全国学会

1. 常俊友紀子、長谷川美栄子

「AYA世代の患者との関わりから考えたこと」
第24回日本臨床死生学会年次大会 2018.10.13～14(千葉)

地方学会

1. 前峠 舞、常俊友紀子、長谷川美栄子

「患者と家族の意向のずれを十分に解消できなかった一例」
日本緩和医療学会第1回北海道支部学術大会 2018.8.25
(旭川)

地域連携室

講義

1. 中原若枝

「ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実践」
北海道介護支援専門員専門研修Ⅰ 2018.7.17(札幌)、8.7
(旭川)

リハビリテーション課

講義・助言

1. 野知有郁子

「第6回札幌がんのリハビリテーション研修会」(ファシリテーター)
札幌医科大学 2018.5.12～13

執筆

1. 野知有郁子

「ターミナルにおけるリハビリテーション」

薬剤課

口頭・ポスター発表

1. 加藤遥平、中脇誠一、平山泰生、大村東生、照井 健

「乳がん周術期の化学療法におけるpegfilgrastim投与時の痛みに関する検討」
第3回日本がんサポーターズケア学会学術集会 2018.8.31～
9.1(福岡)

2. 和泉早智子、加藤遥平、千崎可奈子、中脇誠一、長谷川美栄子

「業務量調査を利用した薬剤師の働き方改革」
第28回日本医療薬学会年会 2018.11.23～25(神戸)

3. 加藤遥平、和泉早智子、中脇誠一、二井矢ひとみ、高橋 都、
長谷川美栄子

「持参薬も含めた病棟における与薬カートでの内服薬の管理

栄養課

全国学会

1. 阿部久美子、板倉育子、橋口絵里、村田奈々、渡邊真理子、日下部俊朗
「減圧目的の経皮内視鏡的胃瘻増設術（減圧PEG）によりQOL向上を認めた一例～栄養士の視点から～」
第23回PEG・在宅医療学会学術集会 2018.9.15（福岡）

超音波検査課

地方学会

1. 中山郁代、狩野可奈、田村 忍、種澤明美、大村東生
「悪性との鑑別が困難だった線維腺腫の1例」
第98回北海道医学大会乳癌分科会・第16回日本乳癌学会北海道地方会 2018.8.25（札幌）

訪問看護ステーション東札幌

講義

1. 成田麻衣子
「こんなこともできるがんの在宅医療～病棟看護師にも知ってほしい今あらためて在宅で行うがん患者のケア～」
第117回ホスピスカ研修会 2018.12.1（札幌）

指定居宅介護支援事業所東札幌

講義

1. 西本有香
「ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種連携の実践」
北海道介護支援専門員専門研修I 2018.7.24（釧路）

地域包括支援センター

全国学会（口演）

1. 野知正太郎、平田麻紀子、伊藤和哉
「介入困難な高齢者支援における、インフォーマル資源との連携～認知症が疑われる独居高齢者の事例を振り返って～」
日本ケアマネジメント学会第17回研究大会 2018.5.19～20（札幌）

講義・助言

1. 平田麻紀子

「ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実践」

北海道介護支援専門員専門研修I 2018.7.27（函館）、8.17（北見）

2. 宮崎稚子
「ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実践」
北海道介護支援専門員専門研修I 2018.8.27（札幌）

3. 平田麻紀子
「主任介護支援専門員の役割」
北海道主任介護支援専門員更新研修 2018.9.19（函館）

4. 平田麻紀子
「主任介護支援専門員としての実践の振り返りと指導及び支援の実践」
北海道主任介護支援専門員更新研修 2018.11.13～14（札幌）

5. 平田麻紀子
「ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実践」
北海道主任介護支援専門員研修 2018.12.13、2019.1.18（札幌）

6. 野知正太郎
「地域共生社会に求められる他職種連携と意思決定支援」
札幌市介護支援専門員指導者研修 2019.1.17（札幌）

7. 平田麻紀子
「地域課題の解決方法（演習）」
北海道地域包括支援センター職員研修（初任者） 2019.2.4（苫小牧）

8. 平田麻紀子
「在宅医療・介護連携推進事業」「認知症総合支援事業」「複合課題の背景・要因検討（演習）」
北海道地域包括支援センター職員研修（現任者） 2019.2.5（苫小牧）

海外研修報告

ローザンヌ大学研修 (2019年3月12日～4月10日)

緩和ケア科 中村 健児

3月12日より4月10日のほぼ1か月間、ローザンヌ大学医学部のStiefel教授の元で研修をさせていただきました。テーマは、主に“コミュニケーション”、“リエゾン精神医学”、“スピリチュアリティ”の3つで、加えて週末中心に、Stiefel教授ご夫妻のご好意で、スイス各地の史跡、景勝地等に案内いただき、スイスの文化にもどっぷりとつかることが出来ました。スイスは、皆様ご存じのように、国土の大部分がアルプス山脈とそれに続く丘陵地となっており、独特の文化を形成しています。特にその政治的中立性は有名ですが、現地で彼等の現実を目の当たりにしますと、日本でイメージしていたのとは違った側面も見えてきて驚かされることも多々ありました。特に医療文化については、我々が日本にいては分からないニュアンスもあり、多くを考えさせられてきました。例えば、スイスでは、医療者による自殺幫助が法的に認められており、また、難治性の覚醒剤中毒患者に特例として医師が覚せい剤を処方することが認められていたり、街角に覚醒剤中毒患者用の注射針の自動供給機があったりと、その現実主義には衝撃を受けました。彼等は自殺や覚醒剤中毒の予防も徹底的にやるのですが、そうでない現実もしっかり受けとめ、2次、3次の予防策も徹底的に講じるのです。そして、一人もドロップアウトを出さないでみんなで守ろうという姿勢を取っているのです。彼等とは色々議論しましたが、自殺幫助については、彼等が何よりも大切と考える自由が、そのことで最後に奪われる—つまり死ぬ自由は守れても、自殺幫助が施行されると2度と「もう一度生きよう」とする自由は失われてしまう事実を彼



ツェルマットでマッターホルンを背景に
—看護師長口ベルト達家族と

等に伝え、私達の立場に一線を引きましたが、その他の徹底的な現実主義には学ぶべき事も多いと感じました。また、移民や性同一性障害等マイノリティの自由と人権を守り、彼等にも寄り添おうという姿勢が色濃く見られ、そこからも教えられました。そして、何より複雑な民族構成と異種文化共存の歴史的背景から、個人や少数派の自由が何より優先され、お互い理解し合い、その共通項を見つけていこうという姿勢以前に、わかり合えなくてもその自由を尊重しよう→だからお互いの考えに深く入り込まないようにしよう、という姿勢が、我々均一性の幻想を抱いてきた日本人には良くも悪くも目立っていたのです。このような医療文化は、統計的数値に振り回されてきた我々のエビデンス主義の医療から見ると、少し心許なく見える部分もあるのですが、逆に精神医学等の「質的研究」が医学で広く認められる土壌ともなっているのではないかと感じました。

また、個人的には、登山が趣味の私としては、本当に山を十二分に堪能することが出来て、とても幸せな毎日でした。毎日、大学の部屋の窓からレマン湖越しに見えるフランス側の高い山々、看護師長さんご一家と行った名峰マッターホルン、Stiefel教授ご夫妻と数日滞在したグリュイエールののどかな放牧地越しの新雪を頂いた山々すべて私の目に焼き付き、思い出す度に心が洗われます。

このような機会を与えて下さった石谷理事長、スイス滞在中ずっとメールのやり取りで励まして下さった照井院長、留守中私の患者様達を預かって下さった先生方やスタッフ方々に心より感謝いたします。



野性芸術美術館前で
—Stiefel教授と共に



チャブレンのエチエンヌ、
リハビリセンターの院長・研修医達と

がん緩和ケアに関する 国際会議

第3回札幌カンファレンスのご案内

第3回札幌カンファレンスのプログラムが決定いたしました。世界の第一線で活躍する研究者の方々に、興味深いテーマでご講演いただく内容となっており、活発な意見交換も期待され、これまで以上に熱を帯びたカンファレンスとなることと思います。また、今回は初の試みとして一般演題の募集も行います。演題募集や参加登録等の最新情報は公式サイトで随時掲載して参りますので、こちらもご参照ください。(http://www.sapporoconference.com/)

シンポジウム 1 2020年8月21日(金) 8:00-12:00

オピオイドとがんの痛み: 進化するその科学と実践

座長: **Russell Portenoy** (MJHS Hospice and Palliative Care, USA)

副座長: **山蔭 道明** (札幌医科大学)・副座長: **下山 直人** (東京慈恵会医科大学)

序論

Russell Portenoy (MJHS Hospice and Palliative Care, USA)

オピオイド受容体: 構造と機能、そしてその可塑性

Christoph Stein (Charité-Universitätsmedizin Berlin, Germany)

遺伝子多型性とオピオイドの損益との調和について

Pål Klepstad (Norwegian University of Science and Technology, Norway)

がん疼痛管理のシステムの変革に向けて一病態全体から痛みを考える

Marie Fallon (University of Edinburgh, UK)

科学的なオピオイド臨床応用の3事例:

オピオイド・ローテーション、突出痛への対応、メサドンの役割

Eduardo Bruera (University of Texas MD Anderson Cancer Center, Texas, USA)

【基調講演】“臨床における調和”最善の臨床を通して、利益を最大に損益を最小に

Russell Portenoy (MJHS Hospice and Palliative Care, USA)

パネルディスカッション／質疑応答

シンポジウム 2 2020年8月22日(土) 8:00-12:00

なぜ緩和ケアにスピリチュアル・ケアを組み込むことが必要なのか

座長: **Christina Puchalski** (George Washington University, USA)

副座長: **Betty Ferrell** (City of Hope Comprehensive Cancer Center, USA)・副座長: **渡邊 知映** (上智大学)

【基調講演】チームによるスピリチュアル・ケア: アセスメントから実際の患者サポートまで

Christina Puchalski (George Washington University, USA)

スピリチュアル・ケアにおけるコミュニケーションについて

Betty Ferrell (City of Hope Comprehensive Cancer Center, USA)

スピリチュアル・ケアの介入を支持するエビデンスについて

Karen Steinhauer (Duke University School of Medicine, USA)

スピリチュアル・ケア専門家から見た緩和ケア

Anne Vandenhoeck (Katholieke Universiteit Leuven, Belgium)

“スピリチュアル”な苦悩と向き合う一欠くことのできない症状コントロールとして

Marvin Delgado (University of Texas MD Anderson Cancer Center, USA)

パネルディスカッション／質疑応答

プレナリーセッション

2020年8月21日(金) 13:00-17:00

オンコロジーと緩和ケアの統合: 適切な患者のために、
適正な時期に適正な介入を提供する

David Hui

(University of Texas MD Anderson Cancer Center, USA)

座長: 佐治 重衡 (福島県立医科大学)

血液悪性腫瘍の根治的治療と
緩和ケアの統合について

Thomas William LeBlanc

(Duke University School of Medicine, USA)

座長: 小船 雅義 (札幌医科大学)

免疫療法治療薬に伴う免疫関連有害事象

Aung Naing

(University of Texas MD Anderson Cancer Center, USA)

座長: 高橋 孝郎 (埼玉医科大学国際医療センター)

がんリハビリテーションと緩和ケア

Jack Fu (University of Texas MD Anderson Cancer Center, USA)

座長: 辻 晃仁 (香川大学)

2020年8月22日(土) 13:00-17:00

緩和ケアの実存的問題における
サイコオンコロジーの役割

Friedrich Stiefel

(University of Lausanne, Switzerland)

座長: 中村 健児 (東札幌病院)

実存的脅威に直面する患者との
コミュニケーションについて

Peter Salmon

(University of Liverpool, UK)

座長: 大西 秀樹 (埼玉医科大学国際医療センター)

実存的に苦悩する患者はいかに
臨床医に影響を与えるか

Sarah Dauchy

(Institut Gustave-Roussy, French)

座長: 清水 研 (国立がん研究センター中央病院)

「死と死に逝く過程を語ること」の
緩和ケアにおける功罪について

Camilla Zimmermann

(University of Toronto, Canada)

座長: 中川 俊一 (Columbia University Medical Center, USA)

ランチョンセミナー

2020年8月21日(金) 12:00-13:00

オンコロジーと緩和ケアの統合、
その歴史と未来への方向性

Stein Kaasa

(Norwegian University of Science and Technology, Norway)

座長: 照井 健 (東札幌病院)

2020年8月22日(土) 12:00-13:00

緩和医療学の哲学と宗教の関係について

Frank Brescia

(Medical University of South Carolina, USA)

座長: 三宅 智 (東京医科歯科大学大学院)

完全
同時通訳

第三回 がん緩和ケアに関する国際会議開催概要

主催 医療法人 東札幌病院

後援 がん緩和ケアに関する国際会議

大会長 照井 健 (医療法人東札幌病院)

会期 2020年8月21日(金)・22日(土)

会場 札幌パークホテル
〒064-8589 札幌市中央区南10条西3丁目
TEL 011-511-3131 http://www.park1964.com/n_access/

事務局

医療法人 東札幌病院

〒003-8585 札幌市白石区東札幌3条3丁目7-35

TEL 011-812-2311 FAX 011-823-9552

E-mail: office@sapporoconference.com <http://www.sapporoconference.com>

外 来 医 師 ス ケ ジ ュ ー ル

内 科

(平成31年7月1日～)

	診療時間		月	火	水	木	金	土
午前	9:00～12:00	1診	照井	平山	照井	平山	照井	交代制
		2診	石谷	伊藤	石谷	中村	町野	
		3診	日下部	長岡	渡邊	長岡	日下部	
		4診	伊達	石谷	伊達		三原	
		5診	高木	古谷	高木	秋津 (～11:30)	秋津 (～11:30)	
		7診	久村		三原			
		8診	二階堂	二階堂	二階堂	二階堂	9診 二階堂	
午後	13:30～17:00	1診	三谷	小野	平山	須釜	三谷	休診
		2診	中村	札幌医大 出張医	札幌医大 出張医		札幌医大 出張医	
		3診	町野	渡邊 (～16:30)	町野	伊藤	須釜	
		4診		三原	小野	伊達	中村	
		5診	秋津			高木		

外 科

	診療時間		月	火	水	木	金	土
午前	9:00～12:00	6診	空閑	染谷	目黒	染谷	柏木	交代制
		7診		大村 (乳腺・甲状腺)		大村 (乳腺・甲状腺)		
	9:30～12:00 (整形外科)	8診					江森	
午後	13:30～17:00	6診	目黒		柏木／目黒		空閑	休診
		7診		大村 (乳腺・甲状腺)				
	13:30～17:00 (整形外科)	5診		井須	井須			

口腔外科(予約制)

	診療時間	月	火	水	木	金	土
午前	9:00～12:00	水越／太子／高田					交代制
午後	13:30～17:00	水越／太子／高田					休診

※土曜日は交代制となっております。詳細はお問い合わせください。

※当院では、待ち時間短縮のために予約制を導入しております。予約外診療も行っております。詳細は受付にお問い合わせください。

※乳腺外来(緊急以外は、要予約)

毎週火曜日／9:00～11:30、13:30～15:00 木曜日／9:00～11:30 担当医師:大村

※禁煙外来(予約が必要です)

毎週木曜日・金曜日／11:30～12:00 担当医師:秋津



●交通のご案内
地下鉄東西線「東札幌駅」より
徒歩5分

駐車場について

当院の駐車場はゲート式になっております。駐車場ご利用の方は、受付または事務室にて駐車券をご提示ください。ご利用料金は以下の通りです。

ご利用料金

外来受診・お見舞いなど、当院ご利用の方は、3時間無料です(以後30分50円)。

医療法人東札幌病院は、公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価(一般病院2 3rdG: Ver.1.1)、付加機能(緩和ケア機能)の認定を受けています。

■認定期間
2015年9月26日～2020年9月25日



日本医療機能評価機構
認定第 JC669 号

一般病院2 3rdG:Ver.1.1

Higashi Sapporo Hospital

医療法人 東札幌病院

〒003-8585
札幌市白石区東札幌3条3丁目7-35
電話 011-812-2311(代表)
FAX 011-823-9552
E-mail: info@hsh.or.jp
HP: <http://www.hsh.or.jp>

東札幌病院は皆様に次のような権利があることを認め尊重致します。

1. 医療を受けるにあたって、大切な一人の人間として尊重されます。
2. 受診される方の個人情報やプライバシーが守られます。
3. 病状や病名・検査結果、受ける処置やケアの内容等について十分な説明を受けられます。
4. 適切な説明のもとに受診される方の意志が尊重され、最良の治療やケアが選択できるように支援されます。
5. 身体的なことだけではなく、必要に応じて社会的・心理的な事柄に関しても支援されます。
6. 療養の経過すべてにわたって、ご希望されれば複数の医師の意見を求めることができます。
7. 最善で安全な医療と必要な健康教育をうけることができます。
8. 医学研究等に参加をお願いすることがありますが、拒否することによって不利益を被ることはありません。

東札幌病院を受診される皆様に御協力いただきたいこと

1. 心身の健康に関する情報について担当者にお伝え下さい。
2. 医療者の説明が不十分な時には、十分理解できるまで質問して下さい。
3. 治療やケアの方針を決めるときには、ご遠慮なく医療者と話し合ってください。
4. 医療者と共につくった治療やケアの計画に積極的に参加して下さい。
5. 院内では常識的な社会人として行動して下さいようお願いいたします。
6. 東札幌病院は全館禁煙です。ご理解とご協力をお願いいたします。
7. 東札幌病院では各階に提案箱を設置しております。ご意見やご要望がありましたらご遠慮なくご利用下さい。